

住民動向について

町長 広報を通じて周知、施策住民サービスも研究

古谷

アパート、長屋の建築件数及び玄関戸数は、昨年度で35件、282戸、本年10月までで、32件、289戸となっている。

また、住民登録状況は、昨年10月で7866世帯、1万5332人、うち外国籍が465人、本年10月では7975世帯、1万5327人のうち外国籍542人。また、毎年1月頃がピークで、約1000人ほど増加になるのではないかと思われる。その多くは外国籍の方。アパート戸数が約600戸程増えているが住民登



建設中のアパート

録者数、日本人が増加していない。

住民登録の促進に向けた取り組みはどうしているか。また、事業所さんへの協力依頼や、本町に移動した方が良いと思える住民サービスが必要ではないか。

町長

住民登録の周知については、広報紙に掲載等も検討し、町内会加入促進も含め、一層周知を深めるよう図って行く。

1年間通して働く環境づくりが、我が町としても大きく問われている。夏の働き場を活性化させ雇用が通年雇用になるよう努める。

今後、より我が町に住むことがすばらしいのだという施策、サービスのあり方について研究していく。

小学校の英語教育について

古谷

小学校において2020年の英語教育義務化完全実施に向けて、2018年度から新たな制度が導入される。

英語に親しむ外国語活動が3年生、4年生に前倒しになり、5年生、6年生においては教科になる。

具体的な支援策を伺う。

教育長

本町の英語教育における目標を「俱知安町の未来を拓く英語教育」とする。

さらに、移行措置期間における指導時数を2020年度の本格実施を見据え、来年度から、3、4年生では年間35時間、5、6年生は70時間のフル時数で実施する。

指導体制については、ALTや学習支援員という形態ではなく、もう少し子どもたちに英語を身に付けさせる方策はないかと現在検討している。

また新年度予算との兼ね

合いから、具体的な施策として内容を精査した上で、教育委員会の重点項目の一つとして予算要望していく。町長部局とも十分に協議をした中で進めていく。



英語教育活動

一般質問 古谷眞司



古谷 眞司 議員